資料１

岩手県東日本大震災津波復興委員会

女性参画推進専門委員会・なりわいＷＧ合同現地調査の概要

１　目的

女性参画の推進に関する現状や課題を実地に調査し、専門的な見地から復興計画の進捗等に関する意見をいただき、「復興実施計画（第２期）」の推進に反映させる。

２　実施日

平成27年10月30日（金）

３　調査先

（1）　NPO法人 wiz　　佐々木敦代 氏（住田町集落支援員）
（2）　図書館併設型美容院　もじゃぴん　村上美智子 氏（県事業を活用した起業者）
（3）　NPO法人 まあむたかた　　荻原　直子 氏（地元住民による復興支援活動）

４　調査者

（1）　委　員［６名］　菅原委員長、赤坂委員、瀬川委員、平賀委員、福田委員、山屋委員
（2）　ＷＧ員［２名］　堀、元持

５　調査概要

調査先	主な発言　等
NPO法人 wiz 佐々木敦代 氏	・　（活動に際して）充分な支援や施策はあるが、それらが普通の人々にも分かりやすく伝わっていない。告知の方法など、分かりやすく広く伝える工夫が行政には必要である。 ・　岩手の県民性から、すぐには成果がでないので、成果が出ないからすぐに止めるのではなく、草の根的に長い目で取り組むことが必要。 ・　人が介すること、コーディネートや結び付けは、もっとお金が生み出せても良いのではないかと思っている。 ・　住田町は、子育て支援制度が非常に充実している。しかし、町への移住となると、子育て支援だけではなく、仕事と住居との連携が必要。 ・　女性にとって、労働形態の幅がフルタイムか臨時職員しかなく、シフト化や時短などの労働形態のバリエーションがあれば良いと思う。 ・　『ＵＩターン』は、言葉が堅い。ゆるいつながりと気軽さ、フラットな雰囲気が大切。いきなり定住というのはハードルが高いので、日月居住が出来る岩手が作られれば良いと思う。
もじゃぴん 村上美智子 氏	・　技術者と経営者の違いに苦労している。経営について、起業前に学べる機会がもっとあると良い。 ・　さんりく未来推進センターの、「その後の経営支援」が資金以上の魅力。なかなか利用できていないが。 ・　情報と人との繋がりは本当に大事だと思う。ここに行けば経営について勉強できるし、いろんな情報が集められるという場所があったらいいと思う。

NPO法人 まあむたかた 荻原　直子 氏	・　家から出てこられる人はみんな元気な人。共通の趣味や共通の話題があると出てきやすいようであり、特に**男性は、誰かの役に立つこと（草刈りなどの奉仕作業など）には積極的に参加する傾向**がある。 ・　子育てや介護などにより、地元の女性は、仕事に従事できる時間が限られている一方で、自分の持つスキルを生かせないか考えている。そういった**スキルが収入に繋がっていくような環境づくり**を行っていきたいと思っている。 ・　女性の起業がない風土であり、一般的な個人の女性で動く人はいない。何をやりたいのかも分からない人が多く、選択肢もなく、女性のそうした姿を見る機会も無い。

５　委員等からの主な意見

(1)　地域における女性の活動支援について

・　**一緒に現状や展望を整理する人、活動を支える人、活動を支援する人が必要**。また、「女性が働きにくい」「地域に出にくい」などの地域性をカバーすることも必要。

・　女性だけではノウハウもなく、男性の一緒に仕事をすることで上手くいくということを否定できない現状を感じたが、**女性の力だけで立ちあがれるようにどういう力をつけていけば良いのか、きめ細かい支援**があればとも思う。

・　**復興が進められている今は、「女性の役割」をはっきりさせるチャンス**。ＮＰＯが人を育てていくためには、地域や団体自身に何が必要かを見つけないといけない。

・　**すみやすい社会づくりのため、社会的な課題の解決や、人に寄り添う仕事をどう育てていくか**を考える必要がある。

・　**中間支援や社会的課題への取組に対しての認識が弱く、仕事として認められていない現状**がある。地元の人がやりはじめたことが続けられるよう、**成功事例を示していく**などの取り組みが必要。

・　社会的課題の解決、コンサルやコーディネートがなりわいになるのか、**ＮＰＯとして一歩進んでいる団体が、自立化のためのノウハウを伝えることが必要**なのかもしれない。スキル育成や情報収集など、ＮＰＯ向けの支援が必要とも感じる。

・　小さな地域において女性が何か行動することへの抵抗感がある中で、**男女共同参画をベースとした様々な支援が大切**なのだと改めて感じた。女性が活躍できる環境づくりをしないと、熱い想いが削られてしまう。

(2)　起業支援について

・　**起業やなりわい支援は、生活支援と子育て支援と一緒に進める**ことが必要。

・　**伴走支援においては、メンター的な人が定期的に訪問**することで、大分解決される問題が多いのではないか。

・　現在も支援制度はあるが、それらの支援制度にたどり着くまでの、**女性や起業初心者のための周知や支援の枠組みが必要**。

・　起業支援でも伴走支援でも、**受け手に様々なレベルがあるので、それらを意識したスキームづくりが必要**であり、**個々の状況に合わせた支援**となるべき。

佐々木敦代氏との意見交換

もじゃぴんでの意見交換

まあむたかたでの意見交換